

宮本三郎×二村次郎

カメラ毎日



『カメラ毎日』通巻第7号、毎日新聞社、1954年7月
表紙構成：宮本三郎 撮影：二村次郎

宮本三郎 写真家との対話

2015年8月8日[土]→11月1日[日]

開館時間：10:00～18:00(最終入館は17:30まで)

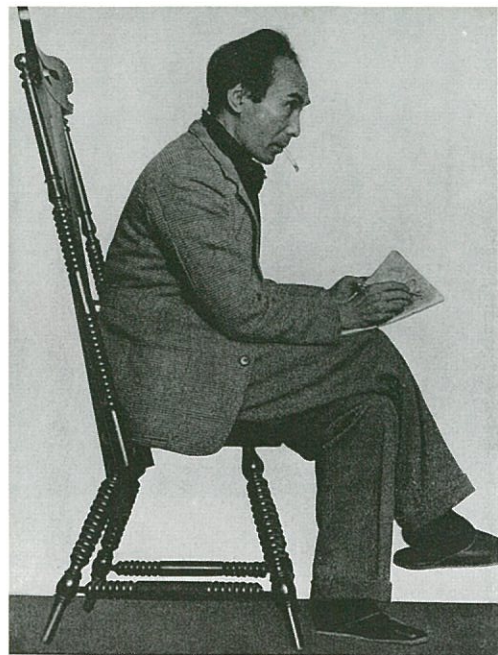
休館日：毎週月曜日 *ただし9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)は開館。9月24日(木)、10月13日(火)は休館

観覧料：一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

*障害者の方は100円(80円)。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

証明書を提示のうえ、お申し出ください。*()内は20名以上の団体料金 *小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

宮本三郎×林忠彦



宮本三郎氏 林 忠彦 (黒白)
この写真は、エッセイ「21世紀のカメラマン」の中で、
宮本三郎氏が「読者のために、カメラマンの役割は、
読者の心を捉えること」をテーマとして、1950年代に
撮影したものである。

"Shigeo Hara"
(A. Hara)
Toshiko Hayashi

『アサヒカメラ』通巻201号、朝日新聞出版、1950年5月
「宮本三郎氏」 撮影：林忠彦

宮本三郎×早田雄二



プロフィール

構成 宮本三郎
撮影 早田雄二

Profile
Composition by Shigeo Miyamoto
Photo by Yoji Hayashi

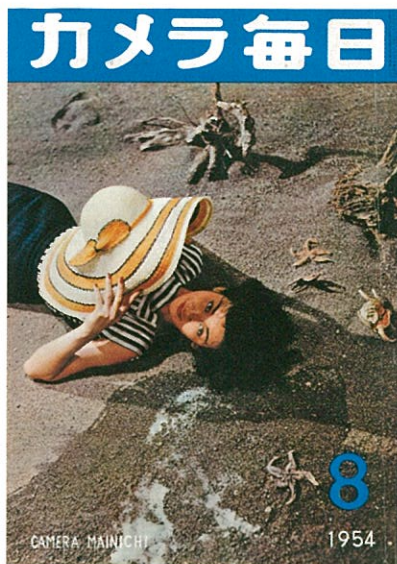
『アサヒカメラ』通巻284号、朝日新聞出版、1957年4月
「プロフィール」 構成：宮本三郎 撮影：早田雄二

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

交通案内=東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分/
東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分/東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分/
東急バス(園01)千歳船橋→田園調布駅「浄水場前」徒歩10分



『カメラ毎日』
通巻第8号、毎日新聞社、1954年8月
表紙構成：宮本三郎 撮影：石井清



『アサヒカメラ』
通巻270号、朝日新聞出版、1956年2月
表紙構成：宮本三郎 撮影：船山克



宮本三郎『裸婦』
1954年頃 紙、墨 *()は作品名不詳につき仮題



宮本三郎『演奏者』
1956年 カンヴァス、油彩

宮本三郎 写真家との対話

宮本三郎『農夫』
1957年
カンヴァス、油彩



宮本三郎(1905-1974)は、1950年代、昭和洋画壇を牽引する画家として活躍する一方『アサヒカメラ』や『カメラ毎日』など写真雑誌から依頼を受け、表紙写真を構成する仕事にも取り組んでいました。構図やモデルのポーズについてアイディアを出し、撮影に使用する小道具を選定するなど、写真家とのやりとりを重ねながら1つの作品にまとめていくその仕事ぶりは、今でいうアートディレクターやスタイリストといったところでしょうか。どこか緊張感の漂うモダンな作風の写真は、宮本によってモチーフの配置や色彩のバランスが考え抜かれたものです。宮本は自らの絵画表現を追求する中で鍛えた造形に対する知識や理論を、写真表現にも応用していました。『アサヒカメラ』誌上で木村伊兵衛と連続対談を行った宮本の言葉からも、絵画制作を通じての経験に裏打ちされた写真作品への鋭い洞察がうかがうことができます。また、宮本自身が被写体になったこともあり、中村立行をはじめとする写真家が、真摯に制作に取り組む宮本の表情を捉えています。

本展では宮本三郎と写真家との関係に焦点をあて、知られざる宮本の写真の仕事を取り上げるとともに、1950年代の作品を中心に油彩、素描作品もご紹介いたします。

ギャラリートーク

日時：2015年8月29日(土)、9月26日(土)、10月24日(土)
各日14:00~14:30
参加費：入館料のみ 場所：宮本三郎記念美術館・2階展示室
学芸員が展覧会についてお話しします。申込は不要です。
開催日時に直接美術館へお越しください。

夏のオープンワークショップ2015

「写真を使って自分だけの雑誌の表紙をつくろう!」
写真を撮ったり、絵を描いたりして、雑誌の表紙づくりに挑戦してみませんか?
日時：2015年8月18日(火)~23日(日) 各日13:00~17:00(16:30まで受付)
参加費：1回100円
講師：難波達巳(写真家) 参加方法：時間中随時受付 対象：どなたでも

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

[交通案内] 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分／東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分／東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分／東急バス(園01)千歳船橋〜田園調布駅「浄水場前」徒歩10分



©宮本和義

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



©宮本和義

◆向井潤吉の民家 絵画と写真
2015年8月8日(土)~12月6日(日)

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL:03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



©宮本和義

◆清川泰次と昭和
2015年8月8日(土)~12月6日(日)



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代表)
[展覧会のご案内] TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
*詳細はホームページなどご確認ください。

同時開催

企画展

- ◆金山康喜のバリー—1950年代の日本人画家たち | 2015年7月18日(土)~9月6日(日)
 - ◆生誕100年 写真家・濱谷浩—もし写真に言葉があるとしたら | 2015年9月19日(土)~11月15日(日)
 - ◆スペインの彫刻家フリオ・ゴンサレス—ピカソに鉄彫刻を教えた男 | 2015年11月28日(土)~2016年1月31日(日)
- ミュージアム コレクションⅡ
- ◆おもしろいかたち・いろいろ | 2015年8月1日(土)~12月6日(日)